

【令和3年度】

**地方創生交付金事業の
効果検証**

【地方創生推進交付金活用事業】

DXによる八代圏域ツナガル推進事業

地方創生事業 成果検証シート

1. 事業概要 (PLAN)

事業名	DXによる八代圏域ツナガル推進事業【事業期間:R3～R5年度】
総合戦略での位置付け	基本目標1:地域の礎となる地域産業が興隆し魅力ある雇用があるまち 基本目標3:地域の宝を活かした町内外の交流が盛んなまち
事業の背景・目的	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none">・八代市・氷川町・芦北町は、隣接していることから通勤・通学面でも結びつきが強い地域であり、定住自立圏形成協定を締結し、圏域全体での定住促進に向けて連携・協力を進めているところである。・全国的にも人口減少が進行する中、八代圏域においても人口の自然減の拡大、さらに大学進学や就職などで地元を離れる若年者が非常に多く、人材不足による産業の衰退が危惧されていた。・そのため、2016年からインターンシップを切り口とした若年者の定住促進、圏域内企業の魅力発信・企業価値向上を目的に「八代圏域ツナガルインターンシップ推進事業(前身事業)」を実施。インターンシップの取組みを通じて学生と企業との接点を作り、学生が域内企業を知る機会を創出することはできたものの、圏域内企業への就職者数は目標値に至らなかった。・対象学生等への働くことへの理解は深まっている一方、圏域内企業の多くはホームページなどの情報発信ツールを整備していないことから、若年者にとっては、「地元就職先がない(希望する職種がない)」との印象を与えている。・アフターコロナを見据えて多くの地方自治体が移住施策に積極的に取り組んでおり、地域間での競争が本格化しているが、受け手が必要とする情報が的確に伝わっていないことから、複合的な情報を広域的に発信できるシステムの構築及びワンストップで対応できる体制の構築が急務となっている。・全国的にDXの機運が高まっているものの、中小企業においてはビジネスにどのようにつなげていくか方向性が定まっていない企業が多い。ITリテラシーの高い人材の不足やDXをサポートする企業が圏域内に少ないことも課題となっている。 <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・若年者にとって付加価値の高い情報を提供することで「圏域内企業を知らない」という現状を解消。同時に若年者の圏域内定着のキーマンである保護者及び高校等の就職指導教諭に対しても有益な情報を提供することで、若年者の圏域内定着を図る。・圏域の情報を集約し支援窓口を一本化。移住後の生活設計に必要な情報を提供しコアにサポートすることでUIターン者の増加を図る。・圏域内企業のDX及びサテライトオフィスの誘致により新たなビジネスを創出し、同職種の求人を確保することで移住・定住等施策をバックアップする。

<p>事業の概要 (R3～R5年度)</p>	<p>※八代市及び芦北町連携事業として実施</p> <p>1 若年者の圏域内定着への対策【人への支援】 就職ガイダンスの実施、やつしろオシゴト図鑑の発行、実践型インターンシップの支援、圏域内高校におけるIT人材育成事業等への支援、高等学校就職指導教諭等との連携などにより、高校生に対し多くの圏域内企業の情報を提供し、圏域内就職を支援。企業側に対しても若年者を選んでもらえるような工夫を促し、その支援も実施する。</p> <p>2 UIJターン者等の支援【人への支援】 ターゲットに即した情報発信媒体の構築・活用、オンライン相談会の実施、圏域内企業とUIJターン者のマッチング、UIJターン者に対する個別支援などにより、幅広い年齢層へ広く情報を発信し、UIJターンを目的に圏域を訪れる方に対し支援を実施する。</p> <p>3 圏域内企業のDX推進【企業への支援】 DX導入セミナー等の開催、DXサポーター(仮)の配置、ICTによる販売促進活動の支援、副業人材の活用支援、サテライトオフィス等の誘致・支援などにより、DXに向け、企業に知識がない、方策や手法がない、適切なスキルをもった人材が獲得できない、サポート企業が少ないという環境を解消する取り組みを実施する。</p>
<p>交付金を充当する経費内容(R3年度計画)</p>	<p>・DXによる八代圏域ツナガル推進事業負担金 20,625千円(うち氷川町941千円) 八代圏域雇用促進センターへの委託事業として実施。 推進主体の人的強化及び事業の周知・広報媒体の構築並びに関係団体とのネットワークを構築し、圏域内の情報の集約やターゲットのニーズを把握し、行動計画を策定するなど、基盤づくりを実施する。</p> <p>【氷川町実施分】</p> <p>①行政内の関係部署との調整 ②本事業の進捗等に係る月次の担当者会議への参加 ③移住・定住施策の情報提供及び側面支援 ④誘致企業等の仲介支援</p>

2. 実施状況(DO)

<p>令和3年度実績額</p>	<p style="text-align: right;">941,000 (円) (うち交付金470,000)</p>
<p>事業実績</p>	<p>本事業の推進主体である八代圏域雇用促進センターにより、若年層の圏域内定着のため企業説明会及び就職ガイダンス等を6回開催した。また、「お仕事図鑑2022」として、既に作成されていた図鑑をデジタル化し、圏域内公立高校へデジタルブックデータにて配布した。 UIJターン者等への支援としてUIJウェブサイトの作成・オンライン展示会への出店1回、UIJに関するイベントの開催を1回開催した。 圏域内企業のDX推進として、DXについての会員企業に向けてのアンケート調査、企業訪問(34社)、DXに関するセミナーの開催(2回)を実施した。</p> <p>【氷川町実施分】</p> <p>①高校生インターンシップ受け入れのため、町担当課と調整・協議を実施した。ただし、令和3年度においては受け入れの実施までには至らなかった。 ②月次の担当者会議へ3回(5/25、8/19、10/28)出席し、八代圏域雇用促進センター、八代市、芦北町等と本事業の進捗等について確認、協議を行った。 ③八代圏域雇用促進センターが管理を行う、八代市・芦北町・氷川町の移住定住サイト「やつしろいい住！」へ氷川町移住定住サイト「ひかわ暮らし」の情報を掲載した。また、移住先輩レポートとして、氷川町へ実際に移住された方の暮らしの様子を紹介するなど、移住・定住に関する情報の提供を行った。 ④サテライトオフィス誘致を行うため、実施実績のある八代市・芦北町への視察を行った。</p>

3. 評価(CHECK)

本事業における重要業績評価指標	重要業績評価指標 (KPI)	事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度(事業終了時)		
	UIJターンでの就業人数の割合	目標値		42.00%	44.50%	47.00%	
実績値		42.00%	45.21%				
20歳から39歳人口の八代圏域への定着率	目標値		91.30%	92.30%	94.30%		
	実績値	91.30%	91.54%				
オフィス系職種の有効求人倍率	目標値		0.38	0.41	0.44		
	実績値	0.38	0.38				
成果・課題	【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うように事業が実施できない部分もありながら、就職ガイダンスの実施やオシゴト図鑑の再構築、UIJターン者に対する支援、移住定住に関する情報の周知や広報などを実施したことで、KPIがすべての項目で目標値を上回る結果となり、本事業の取り組みの成果があった。						
	【課題】 企業におけるDXに対する認識や知識に差があり、企業間での格差がある。また、求職者の求める勤務内容、条件と実際の求人内容に差があり、うまくマッチングできていない部分がある。また、移住定住に関しても、八代圏域に初めから興味のある人に対しては「いい住サイト！」など情報媒体が充実してきているが、それ以外の層への取り組みが充実していないため、八代圏域に如何にして興味を持たせるかについて、今後方法を検討していく必要がある。						

4. 今後の方向性(ACTION)

今後の取組方針	<p>KPIの評価がすべての項目で目標値を超えていたことから、令和3年度に実施した就職ガイダンスやUIJターン者への支援などは継続し実施していく。</p> <p>また、企業のDX推進に向けた取り組みの検討や、圏域内企業でまだ登録が出来ていない企業への訪問の推進に取り組むとともに、今ある移住定住サイトの内容をさらに充実させつつ、八代圏域が候補に入っていない移住希望者の目をこちらに向けさせるための取り組みを、八代市・芦北町・雇用促進センターと連携しながら検討・実施していく。</p>
---------	---